

試論 < 三の時代とその歴史 >

2 國際共産主義運動の略史

前 史

封建制度に対するブルジョアジーの長い闘争は、三つの大決戦で頂点に達した。その第一は、ドイツのプロテスタント宗教改革と呼ばれていたものであった。一五二七年、ルターが教会に対してあげたたかいの声に、政治的な性質をもつ二つの反乱がこじえた。一五二三年の下層貴族の反乱、その次には一五二五年の大農民戦争である。この二つの戦争はいずれも都市住民の不決断により敗北をきたし、以降ドイツは二百年の間ヨーロッパの政治的に活動的な国民の列から抹殺されてしまった。

その第二は、一六四九年のピューリタン革命から一六八九年の「名脛革命」によって幕を閉じた。この時以来、ブルジョアジーはイギリスの支配階級の、あまり目立たないとはいえ広く認められた構成要素になつた。この時以来、ブルジョアジーの完敗となつた。革命は過去の伝統との完全な絶縁を成し遂げた。それは封建制度の最後の証跡まで一掃した。

中世封建社会に対する三百近くのたかい後、政治権力を奪取したブルジョアジーは、十六世紀以来準備され十八世紀

に成熟への巨歩を進めたブルジョアジー社会、すなわち資本主義的生産様式の支配階級として二百年にわたる自らの時代を維持している。

序幕（1789—1848年）

フランス革命と産業革命の「二重革命」の時代の終了。これ資本主義の確立期に入る。

国際共産主義運動の第1期

一八四八年から一八七〇年代において、全世界はひとつ資本主義的体制に組み立てられた。ヨーロッパを頂点にアメリカとフランスが続き、その後にドイツ、イタリア、ロシアが続き、その下にアジア・アフリカ・ラテンアメリカの植民地があった。

この時期の区分は、レーニンの「カルマルクスの学説の歴史的運命」によれば次の通りである（共産党宣言以降の世界史は、はつきりと三つの主要な時期に分けられる）。

一八七五年 第一インター判解体

一八七五年 ゴータ綱領批

一八七五年 第二インター判結成

一八七五年 「資本論」

一八七五年 ター結成

一八四八年 「共産党宣言」

一八四八年 国際労働者協会第一イン

盟結成

一九一七年ロシアにおける最初の社会主义政権の誕生は、文字通り人類史を書き換えるものであった。人類はよいよその前史を終える、資本主義から共産主義社会へといたる過渡期に突入したかにみえた。

一九三六年 第二次世界大戦開戦 德意義大戦

一九三九年 第二次世界大戦開戦

一九四一年 太平洋戦争開戦

一九四四年 第二次世界大戦終了

一九四五年 第二次世界大戦終了から一九八〇年頃までの歴史は、疲弊した帝国主義諸国の中でも、中国革命（一九四九年）から一九七五年インドシナ革命戦争の勝利まで。

一九四五年の第二次世界大戦終了から一九八〇年頃までの歴史は、疲弊した帝国主義諸国の中でも、中国革命（一九四九年）から一九七五年印度シナ革命戦争の勝利まで。

2 樹俊

十九世紀の最後の三分の一と二十世紀のはじめのきわめて過酷な時代である。

十九世紀の最後の三分の一と二十世紀のはじめのきわめて過酷な時代である。

十九世紀の最後の三分の一と二十世紀のはじめのきわめて過酷な時代である。

十九世紀の最後の三分の一と二十世紀のはじめのきわめて過酷な時代である。

十九世紀の最後の三分の一と二十世紀のはじめのきわめて過酷な時代である。

十九世紀の最後の三分の一と二十世紀のはじめのきわめて過酷な時代である。

革命運動は、プロレタリアートの革命主体としての登場がほとんどのいつていいほど無かつた

